

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
| | | | | | | |

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成28年5月25日（水）

開催時間：10時00分～13時02分

開催場所：全員協議会室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長

足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員

上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員

道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員

牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長

教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長

産業経済部長、産業経済部参事、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長

三隅支所長、教育部長、消防長、上下水道部長、（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

（報道）山陰中央新報社、中国新聞、朝日新聞

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 旧浜田警察署の跡地利用について
- (2) 平成28年熊本地震の対応について
- (3) 浜田市シングルペアレント介護人材育成事業について
- (4) はまだ暮らし住まい応援事業について
- (5) 島根県立大学（浜田キャンパス）等の入学者状況について
- (6) 浜田市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について
- (7) 浜田市火葬場整備計画の見直し（案）の説明状況について
- (8) 平成27年度 萩・石見空港利用実績について
- (9) 浜田港長期構想（素案）について
- (10) ふるさと寄附について
- (11) 漁業別水揚げについて
- (12) 浜田駅周辺整備事業（踏切改良）の計画ルート（案）方針決定について
- (13) 平成27年度学力向上総合対策事業実績報告書
- (14) Hamadaマリン郷育プロジェクトについて
- (15) 給水車購入事業について
- (16) 浜田市下水道審議会の答申について
- (17) 投票所の統合について
- (18) その他
（配付物）

- ・封筒デザイン受賞作品の決定について
- ・自治区制度延長に伴うリーフレットの作成について
- ・浜田市移住促進プロモーション動画の制作について
- ・平成27年度浜田市生活路線バス等の利用実績について
- ・敬老乗車券交付事業について
- ・「浜田探索ツアー」について
- ・浜田市地域協議会委員名簿
- ・平成28年度軽自動車税の当初賦課状況等について
- ・公的年金所得者 浜田市モデル世帯の家計支出等について
- ・平成28年度固定資産税の当初賦課状況等について
- ・高齢者向け給付金について
- ・平成28年度島根大学医学部医学科『地域枠』及び市内看護関係各種学校の入学生の状況
- ・高齢者人口等の推移について
- ・浜田市の未就学児童の状況について
- ・「子育て支援ガイド 平成28年度版」について
- ・はまだ産業振興機構 活動実績について
- ・広島市場開拓室活動実績について
- ・三重県松阪市との“駅鈴協定”の締結について
- ・平成28年度学校職員名簿
- ・平成28年度園児・児童・生徒数一覧表
- ・平成28年度公民館職員名簿
- ・平成28年度中国地区スポーツ推進委員研修会の開催について
- ・青少年サポートセンターの利用状況について
- ・青少年サポートセンター及び文化振興課事務所の移転について
- ・美又温泉国民保養センターについて

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 00分 開議]

西田議長

ただいまから全員協議会を始める。議題に入る前に、今年度新たに庁議メンバーとなられた内藤金城自治区長、熊谷弥栄自治区長、田村産業経済部参事、河野上下水道部長、藤井消防長からご挨拶いただきたい。

《 紹介メンバーの挨拶 》

西田議長

議題に移りたいと思うが、最初に市長から報告がある。市長。

久保田市長

冒頭の時間を頂戴し一言お詫びを申し上げたい。今月16日に浜田市不燃ごみ処理場に勤務する浜田市職員が、島根県迷惑行為防止条例違反の被疑者として逮捕された。市職員が市民の信用を失墜するような行為により逮捕されたことに対し、心よりお詫び申し上げる。大変申し訳無い。現在拘留中であり、現時点では何も事実確認が出来ていない状況。今後事実を確認した上で、厳正に対応したいと考えている。

西田議長

報告事項に行かせていただく。

1. 執行部報告事項

(1) 旧浜田警察署の跡地利用について

(2) 平成28年熊本地震の対応について

西田議長

2件一括で説明をお願いする。総務部長。

総務部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

(1) について議員から質疑は。澁谷議員。

澁谷議員

公共施設の再配置計画、遊休資産を売却してキャッシュフローを高め、財政状況の逼迫を打開する、現実的に見て4月末の現金収支49億8000万円赤字になっている。そういう状況で何故この状況なのか。考え方。益々管理面積が増えていく、当然固定費も増えていきキャッシュフローに更に影響を与えると思うのだが。

総務部長

確かに公共施設の総面積縮減を掲げている。先ほど言った理由で、当面の間は庁舎として利用するが、現在市役所周辺にある第2東分庁舎、あるいは土地開発公社が入っている建物その他諸々の事務所が移転することになり不要となる庁舎として利用していた建物については、その時点で解体していきたい。

それからキャッシュフローの考え方だが、当初この用地については子育て支援施設あるいは統合幼稚園等の建て替えということも考えて計画していたこともあるが、当面のキャッシュフローの考え方でいくと、この建物を再利用した方が安くつくのではないかとということで、今回の方針決定に至った。

澁谷議員

よく分からない。調査会を傍聴していた時に担当課長の説明の中に、浜田市の庁舎が非常に手狭であるためという話があったと記憶している。私に言わせれば浜田市は、各自治区の支所が大変空いている。それをマネジメントせずに庁舎を獲得することはどうも解せない。それを獲得するなら今の状況からいくと2倍くらいの公共施設の廃止を併せてセットアップしない限り、もう殆どどうにもならなくなると。私の杞憂か。

総務部長はどのようにお考えで今後進めていくつもりか。

総務部長 議員が危惧されているのはごもっともだろうと思う。先ほど申し上げたように、2倍まではいかないが不要となった施設は適宜解体していく。特定の部課を支所に配置する、いわゆる分庁方式だと思うが、これは一般質問の答弁でも回答したとおり、合併時に色々検討した経緯はあるが住民サービス等を考慮し、本庁または本庁周辺で業務をしていく考え方の中で、今回の方針に至った。ご理解いただきたい。

西田議長
森谷議員 続いて、森谷議員。
随分海拔の低い所だと思う。公共施設を作るにあたって安全な場所なのか。海拔何メートルか。

総務部長 手元にハザードマップがないのだが、確か1.7メートル前後ではなかったかと思う。

森谷議員 公共施設を作るのにそういうことも頭に入れないで、ちょっと何とか天気ではないか。御便殿しかり歴史館しかり、災害の三重苦の場所に新設したりしている考え方が理解出来ない。新設しないのはまだ良い。よく思いとどまっていた。しかし1階については空っぽにしても良いぐらいだと私は思う。

また、青サポが入っているが土地開発公社やその他の所もどんどん入れば良いのに、青サポだけで他が入らないのは何故か。

総務部長 今の建物は解体しないということで、新しく計画したわけではないので特に災害時については、県の津波被害想定が新しく出されることもあり、それを踏まえて考えていきたい。

青サポ以外も積極的にそこを利用すべきだという話だが、現状はまだ県の施設であり、青サポも借用という形で入って一定の賃借料を支払っている。結構な金額になるが青サポは県警の支援を受けていることもあり、借用料を減額してもらっているが、他の所は県の減額規定がないのでなかなかコストも含めて使わないと考えている。

遅くとも29年度中には取得したいと思うが、出来るだけ早く財政と協議した上で予算を付けてもらい、購入した上で浜田市の物として利用していきたい。

森谷議員 今の段階では固定資産税相当額も入ってきているのか。

総務部長 固定資産税ではないが、交付金として入ってきている。

森谷議員 固定資産税相当額という意味ではその通りだと思う。ということは買うのが遅ければ遅れるほど浜田市は得をするということではずるずるいく可能性もあるのか。

総務部長 確かにそういう考え方がないわけではないが、これは今建っている警察用地との協議結果等もあり、当時医療センター跡地を警察が取得し、その跡を浜田市が取得するという覚書や協定書をしているので、ずるずる延びることはない。

森谷議員 それなら交渉は交渉として、別次元で能率が上がるなら利用すべきだったすぐやるべきだと思う。文化振興は第2東に行ってまた引っ越しするかもしれない。それから1つ取り残されていた資料整理する所、歴史館に十数億円かけるならそこにかけて日頃言っているのだが。そこだって警察に行けば色んな整理が出来る。お金のことでバーター等があつて納得しているなら、やるべきことは早くすべきだと思うのだが。

総務部長 この建物に行く部署については、議員が言われたことも含め色々な観点から協議を進めていきたい。何度も言うが、なるべく早く財政と協議して進めていきたい。

西田議長 他に。

 (「なし」という声あり)

西田議長 では(2)についてのご質問は。

 (「なし」という声あり)

(3) 浜田市シングルペアレント介護人材育成事業について

(4) はまだ暮らし住まい応援事業について

(5) 島根県立大学（浜田キャンパス）等の入学者状況について

西田議長 3件一括報告をお願いします。地域政策部長。

地域政策部長 (以下、資料をもとに説明)

西田議長 (3)について質問のある議員は。

足立議員 第一期の時はモデル事業としてスタートするお話だったので、受入先の施設が恐らく6、7か所に限定されていた。第二期以降は市内全施設を対象にしているのか。

地域政策部長 二期生募集以降も基本的には特別養護老人ホームということでやらせていただいている。特別養護老人ホームでのニーズが高いため。三期生についても事前にそういう施設にご紹介している。

足立議員 一期の時は理解出来たが、第二期以降は市内全施設を対象にしなければ、税金投入しているのだから不公平感が出るだろうし、そういう声も若干伺っている。募集段階では全施設に声をかけて、その中から一定の基準により事業所を選定されるのが一番望ましい姿ではないか。部長の考えを聞きたい。

地域政策部長 そのようなご意見はこれまでもいただいている。グループホームや他の高齢者施設等にも色々お話をいただいている。ただ、この制度については市が寄附するものと施設側から寄附していただく物もあるので、そういうことが可能かどうか議論させていただいている。三期については既に募集しているが、来年度は介護施設以外の看護や保育等も含めて対応となるよう努力していきたい。

足立議員 老人施設の中には有料老人ホームも含まれる。その辺は介護保険事業所だけでなく、そういう部分も充分含めて検討をお願いしたい。

地域政策部長 おっしゃるとおりで、高齢者の方が色々な施設を求めておられるので、そのマンパワーが充分充足出来るよう支援していきたい。

西田議長 続いて串崎議員。

串崎議員 この前報告されたとおりで、弥栄の方で3ヶ月くらいで辞められたということだった。内容を聞いてみるとホームシックという状況らしい。問題は、車等をもう差し上げたような話もあり、大変おかしい気がした。

 支援メニューの変更等もされたとお聞きしているが、そういうことが起きないような支援メニューの変更点をもう一度お聞きしたい。

 あと、私の記憶によると指導員が1万5000円、こういうことになってはいけないということで1万5000円かけて支援員・指導員の方等の話もあったような気がするがどうなっていたのか。

地域政策部長 弥栄苑でも1名辞退となっている。メニューは基本的には変えていない

が、ただ車については、最初は3ヶ月以上研修されたら返還なしとしていたが、二期生からは車を提供いただいている自動車会社とも協議して、1年間の研修が終了していない場合は返還していただくことをご理解いただいております。

相談員さんについては、全部の研修生にそれぞれ地元の民生委員さんであったり相談がしやすい方を配置させていただいて、週に一度程度色々な様子を聞いていただいたり色々なことをしていただいている。ご本人によっては相談員さんと連絡をとられない方がいたり、隣近所で相談業務以外にも親しくされたり、色々な状況があると思うが、いずれにしても相談員は二期生にも配置させていただいている。

串崎議員

わかったが、相談員はどのように人選されているのか。どこに権限があるのか分からないが、もう少しある程度の方を人選していただきたい。一応お願いしておく。

地域政策部長

支所管内が多いので、支所とも連携しながら、地域でやっていただけそうな方を選んでいきたい。

西田議長

他に。森谷議員。

森谷議員

9名のうち3名が辞退ということは、確率として3分の1。普通の会社で言っても1年に9人入って3人辞めるのも異常だが、数ヶ月または入らないうちに辞めるのは異常中の異常、大失敗と言える。成功と認識しておられるのか。

地域政策部長

確かに9名おられて3名が辞退されたという点は課題になっていると思っている。ただ先ほど申したように6名の方については、こちらに来られて研修を受けながら、浜田に来て良かったと言われているので、大失敗か大成功かと言われると非常に言いにくい部分があるが、研修を今やっておられる方については、この事業が受けられて良かったということもあるんで、これが失敗だったという判断はしていない。

森谷議員

辞退された理由を教えてください。

地域政策部長

それぞれ個人的な理由なので、ここで個別に理由をご説明することは差し控させていただきます。

森谷議員

前回もそう言われたが新聞には理由が載っている。ということは新聞の取材なのか、砂川さんの発言なのか。

地域政策部長

公に私どもから理由は話していないが、取材中に担当者が色々な説明をする中で、そのように判断されて書かれたのだと思う。

森谷議員

もう1つは、この退職率・辞退率は相談員の力不足、相談員の失態だと思うのだが。相談員を総取換えするくらいのはやるべきだと思うが。相談員を配置しながらもこの辞退率、それをどのようにお考えか。

地域政策部長

先ほどのご質問にもお答えしたように、研修生にも色々な方がいらっしゃる。相談員の方が積極的に関わることを非常に喜ばれる方と、プライバシーを大事にしたい方がいらっしゃる。その都度どういう相談員が一番良いかは分からないが、最初に相談員を決定する場合は民正委員の方であったり、地域である程度対応していただけるような方、例えば住む家の距離等を含めてやらせてもらっている。相談員がおられて良かったという声も聞いているので、今後やる時は人選等を配慮していきたい。

森谷議員

浜田市のこの制度を参考にして、各市で似たような制度を取られている。そこについては実態はどうなのか。辞退者や相談員の配置等。こち

地域政策部長

らが逆に参考にすべき所があればどんどん参考にすべきだと思うが。これまでご報告したように、全国から多くの視察に来ていただいたり、県外でもこういう制度を始められた所があるし、シングルペアレントで違う方法で色んなことをやっておられる所もある。国の地方創生交付金を活用する中で、似たようなことをやっている所と連携したらどうかという提案もいただいているので、県外他自治体との連携もやろうと思っている。県内でも市ははっきり覚えていないが、島根県が中心にこういう事業を各自治体でも検討されていると聞いているが、全く同じ内容でやられるかどうか、例えば車を無償提供してもらうためには自動車会社の協力が要る。情報交換は常にふるさと島根定住財団を含めて行っている。

県内各自治体とそういう情報交換もやっているし、どこの自治体がどんなことをやっておられることも調査させていただく。

森谷議員

辞退率はどうなっているのか。

地域政策部長

まだこの事業を実際に始められた所はあまり聞いていない。昨年私も10月にスタートして、それから色んな報道をされているので、まだ他所で新規にやって辞退があったとかどういう状況かという話は聞いていない。

西田議長

他に。笹田議員。

笹田議員

やはり市民のシングルペアレントの方からは、他所の人ばかり優遇して非常に住みにくい、逆ではないか、浜田のシングルペアレントが住みやすくなって初めて外から来るのではないか、という意見をうかがう。

ふるさと納税と同じで、今の話を聞くと、シングルペアレントの取り合いみたいになる。絶対数が増えるわけではない。言い方が悪いが他所の自治体から人数を引っさらってくるようなやり方で、これもどうなのかと思う。

調査会を傍聴した。支援メニューの中で佐々木委員が質問したと思うが、支度金30万と奨励金100万という所で、説明では事業者さんが負担するような感じだったが、このお金は実際どこから出るのか。

地域政策部長

支度金制度については、シングルペアレント事業をやるために作ったのではなく、もともと介護施設に人材が不足しているということで、そういう支度金制度はあった。それをここにトータルしてやっているだけで、これは市内の方で介護施設に入られた場合の支度金。それからU・Iターン、この事業を使わずに来られた方にもそういう支度金制度があるので、これはその事業所が出された支度金に対して市の健康福祉部が補助するという制度を使ってやっている。100万円の報奨金については国の地方創生交付金を使って月15万円の研修手当を支援させていただくので、本来なら事業所が月15万円負担されれば年間180万くらいの経費が要るが、その事業所負担がないので事業所側で100万円のご負担をいただいている。

笹田議員

ほとんど市が出してやっていただいております、その代わりに奨励金を出していただいていると捉えた。先ほどの自動車の件があったが、1年間住めば提供することになったと言うが、例えば個人の所有になっていて1年以内に帰られて車が不要になったら、その車はどうなるのか。

地域政策部長

車は自動車会社との契約になっているので、自動車会社へ返していた

だき、またこういう事業に使われるかもしれないし、その後の使い方は話していない。ただ、確かに車を無償提供しているが、任意保険だとかプラスアルファの経費がかかるので、その辺はご本人にご負担いただいている。

笹田議員

浜田市のシングルペアレントさんから不評で、色んな意見を受けている。今後の予定で、看護師や保育士さんとあるが、これはいつ頃対応する予定か。

地域政策部長

具体的には、例えば施設にそのまま入っていただくやり方と、今協議しているのは、市内の准看護学校に入られた方にいくらかの生活支援をして、卒業後は市内の病院に勤務していただくということで。この制度の色々な財源は先ほど言ったように、現在は地方創生交付金を使ったり、県がこの制度を作る時に500万円の補助をしてもらっているし、例えば学校等に入られたら高等技能就業支援、国の助成金があるので、それらを使えば地元の方も対象になる。今後地元のシングルペアレントの方でも対象になるようなものを含めて検討している所。

笹田議員

是非地元も対応していただきたい。私の知り合いで他県で結婚されて離婚されて、子どもを連れて帰ってこられた。浜田でなかなか生活出来ないということで、職も転々とされて、先ほど言われたように准看護学校へ通われて卒業して、ようやくどうにか頑張ってやっておられる。そういう方の意見を聞くと、こちらはこんなに苦労して色々やっているのに、何故他所者だけそのような助成があるのだと。なるべくそういった対応もしていただきながら、人口を増やす方法でやっていただけたらと思う。

地域政策部長

当然浜田に住んでおられる方をしっかり支援することも思っている。これまでも何度もお話しているように、介護職場に求人を出されてもなかなか人が集まらない。外国の研修生を入れようかという話まで出たということで、こういうことを。普通のU・Iターンもやっているが、なかなか浜田に来ていただけないので、少し優遇しすぎるという意見もあるがこのくらいやらないと来ていただけないのでやった。市内の独り親や市民の皆さんへの支援も同時に考えなければならないとは思っている。

西田議長

続いて、岡野議員。

岡野議員

シングルペアレントと併せて空き家バンクにも絡んだ話なのだが、私の周辺から聞く話ではこの事業は評価が高いと思っている。入った方並びに私の会社関係で、空き家バンクで紹介して入っていただいている方もおられるのだが、結局意見を聞くとあまりにも田舎過ぎる所に、Iターンで来られて知らない土地で、生活が不便な新しいコミュニティに入れられてしまうということで、そのストレスやプレッシャーがかなりあって辞退者が出るのではないかと思っている。もちろん田舎の一軒家に住むことも良い選択肢ではあるが、中には市内の市営住宅で田舎慣らしをすとか。都会からいきなり山の中に入ると、環境があまりにも変化するためプレッシャーがあるのではないかと、私はそう感じている。この事業を今後推進していく中で、市内のちょっとした町中の市営住宅等にも入っていただき、その1年後でも田舎の方に越すのはどうかという方法を検討してはどうかと思うが。それについてご意見を願います。

地域政策部長

今それぞれ住んでいただいているのは、勤められる事業所がどうして

も郊外が多いので、通勤を考えて事業所の周辺部に住んでいただいているのが現状である。今市内借生園に入っておられる方もいらして、その方は市街地の空き家等に入っていただき、改修事業を使ったりということもやっていたらいい。家賃の問題もあって公営住宅等への引っ越し等も必要に応じてご相談に乗っている。

どうしても受入希望施設が郊外にあるので、例えばご本人が市街地が良いということであれば、我々はどこに住んで欲しいといったことは決めていないので、議員が言われたようなこともご紹介しながら、ご本人がより快適な生活が出来るような努力をしていきたい。

西田議長
牛尾博美議員

続いて、牛尾博美議員。

私が思うのは、最初に面接したりこれを企画したのが市の女性職員で、企画そのものは良いと思う。それでもやるのかというくらいかなりお金も使っているが、問題は人任せにしていないかと。何故かと言うと、コーディネートした企画する部課の人たちがもう既に逃げて、面接したり色々な所でその人に会ったり履歴書見て面接したりする中で、一番交わりやすいのは市の職員であるにも関わらず、来た母子を相談員や地域に任せきりになっているのではないかという気がして仕方ない。今まで関わった市職員が全くタッチしてないのは問題ではないかと思っている。だから、担当している職員も併せて、地域の人あるいは本人、相談員の人、そういう人と一緒になって細かい部分で親身になって、その人にここにいていただくためにはどうすれば良いかを考えていかないと。市の職員は全く無視していて、相談員は1万5000円だとか地域がどうだ施設はどうだと言って、人任せになっているのではないか。私はそこに大きな原因があるのではないかと思っている。いかがか。

地域政策部長

おっしゃったことは私どもの反省点の1つにある。相談員さん等に通常の支援をお任せしていた所がある。それともう1つ、最初の面接や審査の仕方ももう少し充実させていかなければいけない、辞退者を少なくする意味でも。入られてから色々な事情が分かったりすることも出てきているので、事前にしっかりお話を聞いて、後から突発的なことがないように努力したい。

それと、担当職員がしっかり連携が取れるようにしなければいけないとのことで、4月からは一期生二期生それぞれに担当課で担当と副担当を付けた。6名の方一同に集まっていたので、そこで「あなたの担当は本庁職員の誰誰が担当します」ということで携帯の番号等も教え、こちらからも積極的にアプローチして、なるべくこちらでの生活に不安がないように。相談員のことやご本人がお困りのこと等も、担当者がサポート出来るような体制を4月から始め、最近それが少しずつ機能している。

牛尾博美議員

市の職員があまりに全てにタッチして相談員みたいなことになると、あれは駄目これは駄目ということも言うてしまうと、なかなか相談してもこれは無理だということになってしまう。それは駄目ではなく、それをやるためにはどうしたら良いかということ、皆で相談していかなければいけないというのが、担当者の一番大事な仕事だと思う。とっかかりだけやって逃げていては大きな問題がある。最初にとっかかりのあった担当者が思いを持って親身になって色々な事を聞いてあげたり、相談員に要望を出したりする形で関わらないと、地域や相談員や施設に放り

投げてあとは金だけ出せば良いというような考えでは、住めないし住みつかない。出来ないではなくどうしたら出来るだろうかと、知恵を出してやっていく姿勢を相手さんに見せてあげないと。話を聞いて少しこういうことを感じられたので。市職員が悪いというのではないが、もう少し思いを持って親身になって接するのが大事。

地域政策部長

今言われたようなことは我々充分配慮しながらやっていく。たまたま今回、担当係長も女性になった。今のシングルペアレントさんは全員女性なので、男性より女性の方が話がしやすい部分もあると思う。係長を中心に積極的に情報交換をさせていただく。

西田議長

他に。原田議員。

原田議員

皆さんの意見を聞いて私も思ったが、私がよく聞くのは、地元の独り親とこの事業を利用するU・Iターンの独り親への待遇の差があまりにも大きい。その辺の不足がものすごくある。この制度をやる前に周知をしたのか私も分からないが、出会うたびに言われるのだ、何故自分たちには何もせず他所から来られた方には手厚い保護をするのかと。議会報告会や地域協議会でも話が出る。そういう部分をきちんと押さえて説明していかないと、いくら良い制度でも継続していかないのではないか。

もう1つ、先ほど串崎議員への回答で3ヶ月を1年間ということになったが、他のメニューも全体で7項目あるが、このメニューだってどうなっているのか。100万円もらった、それも1年いないと駄目なのかとか。色々なことが出てくる。その辺が周知されていないから苦情が出てくるのだ。市内の方にも市外の方にもきちんと説明していただかないと我々議員も困る。良い制度だと言われたとしても反対ではそういう意見がある。しっかり押さえて継続していただきたい。

地域政策部長

支援メニューの条件等、先ほどは車のことだけ申し上げたが改めてご説明する。

①月額15万円以上の給与、②月額3万円の養育支援、③月額上限2万円の家賃補助については、3ヶ月以内に辞退された場合は支給しない。

④中古自動車の無償提供は先ほど説明したとおり、1年以内に辞められたら返していただくよう変更した。⑤支度金30万円は、福祉サイドが従来から持っている制度をそのまま適用している。⑥奨励金100万円は1年間の研修終了後に事業所から出すが、その後2年間勤務されなかった場合は期間に応じてお返しいただく。最終的には3年間勤務で満額出るということだ。⑦資格取得支援は福祉サイドの支援メニューだ。市内の方へは福祉サイドで色々なメニューを持っているので・・・

健康福祉部長

市内のシングルペアレントにという話はこれまでも議会から何度かご質問もあり答弁している。資格を取得するために生活費等を支援する制度であるとかは従来からあり、国から拡充の話もあって拡充している。あとは福祉医療制度による医療費軽減等、今年は児童扶養手当も増額になった。全体的に独り親に対してサービスの底上げは進んで来ていると思っている。ただご指摘があったように、我々側で独り親の方に支援している制度について周知が不十分であると感じている。今回市長から指示があり、今回の議会の中でまず委員会に現在やっていることの資料を出して説明させていただき、それプラス市民への周知が伝わるよう努力したい。現状は、児童扶養手当を受給しておられるので毎年1回は手続き

で市へ来られるので、その時に独り親の方への支援をまとめた資料をお渡しして説明する。例えば母子会といった組織もあるので、そうした会への入会もおすすめするとかいったことは、日常的に窓口でやっているのだが、ご指摘あったように本当の意味でご存知ないことがあるのではと思うので、その点については先ほど申し上げたように、周知等に力を入れたい。

原田議員

もう1点ほど確認したい。浜田在住のシングルペアレントの方から、こういったことについて担当課にクレームや質問が入っていると思うのだがどうなのか。

健康福祉部長

窓口でお会いする機会があると先ほど申し上げたが、その中で私にそうした苦情が多くあるとか、質問があるとか、そういう話は特に聞いていない。

地域政策部長

私どもにもそういった話は入っていない。

西田議長

他に。芦谷議員。

芦谷議員

一般質問もしたが、問題は未婚の母の場合の寡婦控除適用と、離婚した場合の離婚前の税による保育料算定、こういった矛盾についてはかなり窓口でも要望があると聞いている。是非それについての検討状況についてうかがう。

健康福祉部長

これは議員が前にご質問された内容。我々もそうした不合理は認識している。申し訳ないがそれを具体的に制度としてお示し出来る所まではまだ至っていない。ただ、そうした問題点は認識しているので、検討していきたい。

芦谷議員

不合理を認識しているなら、是非とも年度内に進めることをお願いしておく。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

では次、(4)について議員から質疑は。

(「なし」という声あり)

では(5)については。澁谷議員。

澁谷議員

平成27年度が浜田市からの県立大学入学生が0名で、市民の方から何度かお叱りを受けた。今年9名と改善されており大変結構なこととは思いますが、商業高校や水産高校の先生からはお叱りを受ける。今のようなセンター試験中心の入学者選考になった場合、実業高校と普通科高校の授業カリキュラムは全然違うので、入学への門戸が閉ざされた形になっている。それが浜田市が誘致した島根県立大学として正しい取組みなのかと。その辺について浜田市はどのようなアプローチをされているのか。

地域政策部長

入試方法が27年度から変わり、これまでの指定校推薦が変わったことで、一部の学校からはそのようなお声もいただいているとは聞いている。県立高校の担当もまちづくり推進課になったので、この4月も各学校を回って色んな話を聞いている。一方で、県立大学は県立大学として大学のレベルアップと卒業者のより良い就職先が確保出来るような努力ということで、それぞれ色んな考え方があると思う。市としてはこの県立大学が地元学生にたくさん入っていただき地元へ就職していただくのが、一番ありがたいと思っている。そういう面では、それぞれの立場でのご意見をきちんと繋いで、最終的には大学に判断していただくということ

| | |
|--------------|--|
| 西田議長 笹田議員 | <p>で。先ほどのような意見も、大学事務局と定期的に意見交換会をやっているの、お伝えして大学側の判断をいただきたい。</p> <p>笹田議員。</p> <p>浜田ビューティカレッジについてお聞きしたい。定員60名のところが6名ということで非常に苦しいのではないかと思うが、この人数で学校経営が成り立つものなのか。</p> |
| 地域政策部長 | <p>私もこの4月に担当になり学校へお邪魔させていただいた時、理事長や校長にこの数字を初めて伺って驚いた。昨年度は浜田ビューティカレッジから市に対して、支援要望も出ているので大変厳しい状況だということは認識しているし、この6名で学校が運営出来なくなるかどうかは判断していないが、当面出来るとして学生確保、通信制については秋頃入学者を入れるそうなので、PRやオープンキャンパスの情報提供をしながら、なるべく県西部からたくさんの学生が入れる努力をしていきたい。</p> |
| 笹田議員 | <p>非常に申し上げにくい、色んな市民の方から話があったりして、非常に評判が良くない。事業者からもこの生徒は来ても戦力にならないので取らないことにしているとか、そういった話をよく聞く。地元で望まれている学校ならまだ浜田市が支援して盛り上げていただきたいが、まず卒業生や学校の体制が、地元からそういう評価があるということとはあまりよろしくないのではないかと、私は勝手に想像する。そういった所はどのように把握されているか。</p> |
| 地域政策部長 | <p>学生さんの日常生活のこととか、色んなことも聞いている。学校とその辺をしっかりと議論して、受入先に喜んでいただける学生が増えてこないこの学校への入学者は増えないと思っている。学校としっかりと意見交換しながら、浜田の学校としてより良い学校になっていただけたらいいと思う。</p> |
| 西田議長 | <p>他に。</p> <p>(「なし」という声あり)</p> |

(6) 浜田市税条例等の一部を改正する条例の専決処分について

| | |
|----------------------|--|
| 西田議長 財務部長 西田議長 | <p>執行部から報告をお願いする。財務部長。</p> <p>(以下、資料をもとに説明)</p> <p>この件について質問は。</p> <p>(「なし」という声あり)</p> |
|----------------------|--|

(7) 浜田市火葬場整備計画の見直し(案)の説明状況について

| | |
|---------------------------------|--|
| 西田議長 市民生活部長 西田議長 佐々木議員 | <p>執行部から報告をお願いする。市民生活部長。</p> <p>(以下、資料をもとに説明)</p> <p>この件について質問は。佐々木議員。</p> <p>C案という方向で今進められて説明会もされたようだが、試算部分の考え方を今更かもしれないがうかがいたい。以前この火葬場計画を作った時に示された試算というのは、施設整備プラス向こう15年か20年かのランニングコストも含めたトータルの物が示されて、三隅で一炉増やすのが一番安いという内容だったと思う。今回の場合もそういったランニングコストを含めた試算案なのか、それとも施設整備だけを捉えた案なのか。</p> |
|---------------------------------|--|

市民生活部長

直接数字をお示ししたのは施設整備にかかる分だが、ランニングコストという観点からいくと前の計画を統合すれば1つになるから、その辺の効果は出ている。ただし、前の計画の内容は完全に建て替えるということとの比較なので、現地に今ある物との比較とは完全に異なる。

今回お示しした数値は、直接示しているのは整備費だが、ランニングコストを勘案したC案が明らかになってくると思う。

佐々木議員

いずれランニングコストを示していただきながら、説明をお願いしたい。

市民生活部長
西田議長

そのようにさせていただく。
他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

休憩を取らずに進めようと思っているので、トイレ休憩は各自で願います。

(8) 平成27年度 萩・石見空港利用実績について

(9) 浜田港長期構想(素案)について

(10) ふるさと寄附について

西田議長
産業経済部参事
西田議長
森谷議員

3件一括で執行部から報告をお願いする。産業経済部参事。

(以下、資料をもとに説明)

(8)について質問は。森谷議員。

常々不思議に思っている部分だが、産業経済でインバウンドとか入込客といったような、一般市民に通じそうにない難しい言葉が使われる。対象者を眺めていると、向こうに行つて泊まる人のように見える。ということは行った先での入込客またはインバウンド、お金を落としてくれるお客さんなわけで、それをAと名づける。では向こうから浜田に来て泊まってくれる、浜田にお金を落としてくれる、県の資料等を見ると泊まる人は一人あたり2万5000円の計算になるそうだが、それをBグループとすると、Bのグループには補助がなくAのグループには補助がある。どちらが貢献しているかと考えると、私は確実にBだと思う。Aは浜田で食事もせず遊びもしないのだから浜田にとってはマイナスだ。Bのグループに浜田に宿泊すれば5000円や4000円上げるとした方が道理にかなっているし、そもそもの目的は2往復確保なのだから、そのためには色付けする必要はない。どうせ色付けするなら一石二鳥で効果が大きい方を補助するべきだと思う。間違っているか。

産業経済部参事

確かにご指摘のとおり、他所から来ていただいた方が経済効果という面においては大きいと思う。ただ、今回の萩・石見空港2便化という所で考えると、まずは地元圏域の市民や企業さん、身近に立派な空港があるわけだから利用してもらい、そこからスタートではないかと思っているので、浜田市独自補助や圏域補助を用意して利用に努めている。

財源が未曾有にあるなら、インもアウトも、利用される方に対し補助を出すことも可能かとは思いますが、財源の限りもあるし、仮に関東方面からこちらに観光で来られるお客様が、数千円の補助を理由にこちらを選択するのかという懸念があるかと思う。これについては担当でもしっかり議論しているが、色々検討した結果、まずは浜田市民や圏域の方に利用してもらおうための浜田市独自補助、協議会の助成制度を活用して誘客

森谷議員 　　に努めようということで取り組んでいる。

森谷議員 　　説得力が全くない。取り返す意味でも2万5000円払ってくれる人を優先順位。お金もないわけだったら2万5000円払ってくれる人を優先すべき。それを市民にも聞いてもらいたい。普通は住民福祉の増進に貢献するものだから、市民の意見を聞くのも大切。私、こういう設問をしながら聞いたら、もっともだと、そうすべきだという話。

産業経済部参事 　　費用対効果の面で言えばご指摘の点もあろうかと思う。ただ、助成はしているが浜田市共通商品券をお渡しし、浜田のお店を使ってもらおうという経済効果も狙っての助成であるという所でご理解いただきたい。

西田議長 　　他に。

西田議長 　　（ 「なし」という声あり ）

西田議長 　　では続いて(9)について質問は。

西田議長 　　（ 「なし」という声あり ）

西田議長
森谷議員 　　(10)について質問は。森谷議員。

産業経済部参事 　　寄附項目が7項目から5項目から変わった理由の1つが、市長一任を減らすためということだったが、実際に割合は激減しているのか。

産業経済部参事 　　その他市長が必要と認める事業への配慮として項目数が見直されたが、現在の所、その他の基金のところ、平成26年度においては35パーセントだったものが、平成27年度については32.8パーセントということで、わずかではあるが少なくなったということで、効果は出ているのではないかと思う。

森谷議員 　　なるほど。3.2パーセントを素晴らしい効果だと認識しておられるわけだ。7項目中一番少なかったものは何パーセントで、今度新しく5項目になった時に一番不人気の寄附項目は何か。

産業経済部参事 　　金額はそれぞれ出しているが、その他の部分については出していないので少しお時間をいただきたい。後ほど説明させていただく。

森谷議員 　　私の資料でお答えしようか。7項目だった頃に不人気だった項目は浜田城整備で、7億円のうちの1千万円で1.何パーセント。最高に不人気。新しい5項目の中では石見神楽が不人気で7パーセント。それから推測すると、神楽館と浜田城整備については、やらなくて良いと言っていることの裏付けにも思える。情報については間違いないか。

産業経済部参事
森谷議員 　　間違いない。

森谷議員 　　それについて、当初の変更目標を達成しているとは言えないと思う。更に変更していく予定か。

産業経済部参事 　　昨年見直ししたばかりだし、まだ1年経ってない。まずは寄附者の方が目的に合う用途、具体的にまずは示さなければいけないと思っている。今の所この大きな枠については見直す予定はない。

森谷議員 　　それはそれで結構だが、具体的になっている項目については駄目出しでNOが出ている。福祉や教育等のファジーな項目については大体20数パーセントだから、仕方なく選んでいると判断せざるを得ないと思う。だから思いどおりに行かない所は躊躇せずに頻繁に変えていけば良いのでは。

産業経済部参事 　　先ほど申し上げたように現在は途中の段階であるし、今から用途についても検討していく段階なので、意見もいただきながら参考にさせていただければと思う。

西田議長

森谷議員、色々と得られた情報があるなら単刀直入に聞いていただきたい。ではこの件はよろしいか。原田議員。

原田議員

ふるさと寄附については27年度も本当に好調で、素晴らしい実績が上がったのではないかと思っている。そこで今回、松阪牛とのどぐろ最強コラボ返礼品ということで新聞にも大きく報道されて大々的にやろうとされている。今聞くと、今までのどぐろと例えば地元益田の松永牛、あるいは弥栄の和牛、邑南町との食の取引もしているのもその辺の取扱い、こういった所との話し合いと言うか、何かのアクションがあつてこういうことに踏み切っていかれたのかどうか、お聞きしておきたい。今までは随分色々とお世話になっておきながら、今度は松阪牛と組んでいくんだというのが、非常に理解しがたいし、市民からも地元ではない所とコラボすることに批判の声が出ている。のどぐろ販売のために一番良い方法かと思うが、既にある繋がりも大切にしていけないといけないのでは。考えをお知らせしていただきたい。また、これは150セットに限って終わりなのか。

産業経済部参事

松阪市とのコラボの件だが、こういった運びになった背景は歴史的な繋がりがあつて協定に結び付いたため。協定の中に3つの交流事業を挙げている。1つには自然歴史文化を活かした観光交流、2点目には産業振興と特産品の斡旋等の経済交流、3点目に歴史と伝統文化を理解し合うための文化交流というもの。2点目の特産品の斡旋等の経済交流の部分で、こういった松阪牛とのどぐろのコラボを計画した。浜田市内においても邑南町との食の協定をした所で石見牛とのコラボもやっているし、地元の商品をないがしろにする意味ではなく、地元にも良い物があるので、こういった物もどんどん産品として扱うよう取り組んでいきたいと思っている。先般ふるさと寄附事業者連携会も立ち上がったので、しっかり連携しながら浜田の産業に繋がるよう努めていきたい。

それと150品限定かという話だが、今回は松阪牛とのどぐろを150セットを両市でやるとのことだが、今後についても先ほど特産品斡旋等の経済交流というのがあるし、両市には他にも良い物がたくさんあるのでそういったところで浜田の知名度アップや産業振興に繋がるなら、第2弾3弾と考えていく必要があるかと思う。

原田議員

私は協定を否定するものではない。ただ今までやってこられた所とある程度の繋がりを持ちながらやっておく必要もあるのではという気がしたので、そうした話も聞いているので、意見として言わせていただいた。

西田議長

足立議員。

足立議員

担当部署が財務部から産業経済へ変わった。これで27年度の金額が約10億円に確定して行って今から議会等に話があると思うが、先の連休明けに議会報告会をした際に様々な意見があつた中に、ふるさと寄附でいただいたお金の使い方が分かりづらいというのがあつた。説明はしたのだが、市民側からしたら、残った基金をどのように活用して今後どのように運用していくのかという所で、特別会計としてやったらどうかという声もいただいた。部署が変わったので新しい部長さんのお考えを伺いたい。

産業経済部参事

今後の使途について考えている状況だが、おっしゃるとおり今18億170万円の寄附を今年度いただいているが、使い道については皆さん感心の

ある所だと思っている。寄附は5本柱に基づいていただいているが、では具体的に何に使うかについては検討し始めた所なので、出来るだけ早い時期に議会の皆さまにはお示ししたいと思う。

特別会計として別に積み立てたらどうかという話だが、これについても検討会議の中で貴重なご意見として参考にさせていただきながら考えたい。今日の所はどうするかの考え方は持ち合わせていないが、検討委員会の中で検討したい。

足立議員

先輩議員も含め多くの議員が、特別会計導入についてこれまでも議会の一般質問の中で触れているので、それは意見の1つではなく充分重い意見として留めていただきながら、執行をお願いしたい。

西田議長
岡野議員

岡野議員。

ゴールデンウィークから市長がテレビに出たり馬に乗ったり、かなり活躍されてふるさと寄附の宣伝をされている。東京に在住の私の同級生がたまたま松阪と浜田市のコラボについてのニュースを知り、どういう関係で浜田市と松阪がと質問を受けて説明をしたら、私も浜田が地元なので寄附しましょうと連絡があった。そういった意味で言うと市長が宣伝したことの効果としてはあるのではないかと思う。たかだか150セットなので全体からすれば金額的には少ないと思うが、アピールする効果は充分あったと考える。その中で寄附された方々が、何に使ったか何に使うつもりなのか、しっかり告知していくことが必要ではないかと思っている。寄附された方々に対してもそうだが市民に対しても、お金を貯めておくのではなく、5項目の中でこのことについてはこのようなことに使ったと年度ごとの報告くらいはしないと、趣旨とやっていることのバランスが悪いと思っている。寄附者を新規獲得して行ってこのふるさと寄附が進んで行くことは結構なのだが、今後同僚議員が行ったように20億円の内訳をどのように扱って、どのような効果が浜田市にあるのかを、どういう方向で示されるのか。例えば寄附された方1人1人に報告書を出すのは難しいと思うが、ふるさと寄附のページにおいて「こういうことに使った」とされるのか、うかがう。

産業経済部参事

おっしゃるとおり寄附を募るにしても、寄附者への報告という面においても、何に使ったか何に使うのかは明確にしていく必要があると思っている。使途については今から検討するし、あらゆるホームページや寄附申請サイトの中でも使途をしっかりとアピールしながら事業に取り組んでいきたい。また市民の方に対する説明責任もしっかり果たしていきたい。

西田議長

他には。

(「なし」という声あり)

(11) 漁業別水揚げについて

西田議長
産業経済部長
西田議長
森谷議員

執行部から報告をお願いする。産業経済部長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について質問は。森谷議員。

去年は47億円で近來最低の水揚げだと言われていたが、この調子でいくとそれを上回ると読めるのか。

産業経済部長

1月から4月まで、今まで過去の状況を見ると去年は累計16億8000万

| | |
|--------|--|
| 森谷議員 | 円となっていた。本年度は累計22億円あまりとなっているので、出来れば昨年一昨年を上回る状況になれば良いと思う。 |
| 産業経済部長 | <p>漁業関係者に聞くと100億円の目標という話を聞いてもう3年目だが、達成出来る気がないので何だこの目標はということらしい。たまたま駅伝日本一にした青学の監督が「達成可能なものを目標と言って、やる気が起きないのは妄想と言う」とテレビで言うておられた。100億円というのはあの監督が言う妄想に該当するのではないかと思うのだが。飽くまでも100億円をずっと維持すべきだということか。</p> <p>これについては私どもにも色んなご意見やお考えを伺っている。市長就任時に、基幹産業である水産業を今後十分にテコ入れしてやっていきたい。元気な浜田になるための大きな柱の1つが水産業ということで、10年後に何とか100億円を目指したいと。</p> <p>ここ20年前のことになるが120億円程度あった所もある。そういう中で考えて、やはり100億円という目標の数字が出て来たというのは、私ども関係者にとってはそれはちょっと多いのではという意見があるが、目標を掲げてそれに向かって全力で頑張っていくことについては、決して間違ったものではないと思っている。</p> |
| 森谷議員 | <p>120億円というのは船の数が全然違うのだから、議論が成り立たないのはご存知だと思う。もうやめよう。あと20億円プラスするフィレも、外国が冷凍を買ってくれる、生簀がどうのということで20億円ほどはプラスして、70、80にはするのだという話だが、それも50だ100だという話と同じような位置づけにしか見えないのが漁業関係者の話。もうちょっと目標設定の色を変えたり工夫されるべきだと思う。</p> |
| 産業経済部長 | <p>これについては産業建設委員会を傍聴された方はご存知だと思う。委員会の中でも目標設定についてももう少し現実を見据えて明らかにすべきではないかという意見をいただいている。ただ我々とすれば自分たちでやっているものではないので、私どもが軽々に目標を再設定することはなかなか出来ないこともご理解いただきたい。現実を見ながら、実際に漁業関係者の方のお話も充分聞いてやっていきたいと考えている。</p> |

(12) 浜田駅周辺整備事業（踏切改良）の計画ルート（案）方針決定について

| | |
|--------|--|
| 西田議長 | 執行部から報告をお願いする。都市建設部長。 |
| 都市建設部長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 西田議長 | この件について質問は。森谷議員。 |
| 森谷議員 | 1年前の7月末に説明会があり、踏切案だけだったので橋の案も合わせて再度説明会を開くとのことだった。今聞けば5月27日に決定したという報告をするように受け取れた。住民意見を聞いて更に話を進めるのではなく、決定を報告するだけの会なのか。 |
| 都市建設部長 | 一応、踏切案と橋梁案の両方を検討した。ただ地元説明会の時には、こういった案がありさあ皆さんどういたしましょうかという説明会は考えていない。飽くまでも道路を施工する浜田市がコンサルタントを入れて、技術屋が検討した結果でもって、こちらの基本的な考え方をお示しする必要があるかと思う。その方針が第三案として地元にはお示しして、皆さまのご意見を伺いたいと思う。 |
| 森谷議員 | この方針が第三案という意味がよく分からないが、一案二案はどうい |

都市建設部長

う意味合いで、この方針が第三案なのか。具体的に説明してもらえるか。
道路を作る浜田市とすれば第三案、現在の……

(これの第3案かという声あり)

都市建設部長
森谷議員

そう、これが最善であると判断して地元には説明をしてご意見を伺う。
地元が反対すればごり押しするのか。

都市建設部長

道路企画というものは皆さまのご意見を聞いて、色んな意見があるからそれで右往左往と変わるものではないと思っている。まずは道路を作るこちら側が、最小の経費で最大の効果を上げるべく考えている。道路構造令に則った構造としている。そういったものをまずは考えをお示しする必要があるかと思う。例えば計画が気に入らないと言われても、それは当然説明をして理解をいただこうと思っている。

森谷議員

結局ごり押しするという事だと思ふ。私は1案というのは福屋の辺から徐々に上げて山陰中央新報のピンクの建物の辺りからぐっと上がってくる、それ15億円。計画ルート2というのも立体交差で、これは再会の所から上がっていく、これが8億円。私は自分なりに専門家と話をして考えたのが1案に近いものなのだが、徐々に上げないで寿司屋の所から上げる図を適当に書いていたが、1案を設計した所に言えば、そのようにするならもっとやりようがあるという話だった。線路の所は高さ6メートルくらいをキープしなければいけないが、道路の厚さを更に1メートルキープしている。どういうことかと言え、橋脚の間隔があればあるほど橋は厚くならなければいけないということで、橋脚の間が開いてしまったから橋が厚くなっただけで、橋脚が狭くなれば橋は厚くならず高さ制限もクリアすると。私は4月最初に米子鉄道管理局にも行った。その時は担当者と話は出来なかったが、話をしたら、私が言った寿司屋のことも全部知っており、大体5億円だねという話だった。今度はコンサルタントにそういう話も合わせて行ったら、それならこんなにかからないと。

私はこの1案というのは、先ほど地方自治法第2条第14項を言われたが最善を考えてない。3にしたいから適当に1を作って15億円と膨らませていると取れる。1番の詰め方があるのではないか。コンサルタントやJRに聞いた話ではそうなる。

もう1つ、これそもそも10年近く出たり消えたりした計画だと思うが、前回一般質問の回答で7億円と言われた。7億円というところで言うと3番になるが、それは7億円の状態で浜田市が見積もってなかった2億円という追加の金額がある。君市踏切は単線になっているのでその幅自体を広げるのは5000万円くらいで出来るが、もう少し東側は切り替えポイントと信号があるからプラス2億円かかるという、その2億円を見落として計算していたと思う。その辺りの詰め方はどうなっているのか。

都市建設部長

先ほど仰った第1案のもう1つの案については、参考意見として承っておきたい。前から言っている7億円というのは、この話が随分前から地元から要望等出ていたが、その際に概算事業費を弾く上で現在の君市踏切でここと言えば第4案でもって当時概算を出した。約7億円。その次にJAの跡地を取得して第3案で検討する段になった際、第3案だとJRに対して平行に走っている道路が分断されるとのことで、それぞれ道路の横側に迂回道路を考えて積算したため、移転物件も増えるため約7億円くらいかかるのではと試算した。森谷議員がおっしゃったように、その時に

はポイントや移設は全く念頭に置いておらず、たまたま7億円で試算していた。

このたび第3案については先ほど申し上げたように、現在使っていない引き込み線の土地を取得すれば、単線での踏切が可能になるというJRからのご意見をいただいた。ただその時にはポイント等の移設が必要になるということになり、その金額が加わった。

森谷議員

まずは踏切の話に特化する。以前は踏切の2億円を考えずに7億円と言っていた。今回は踏切の2億円を考えて7億円と言っている。意味が分からない。まず2億円に気づいたのは今年1月だと聞いている。それも併せてお答えいただきたい。

都市建設部長

おっしゃるとおりポイントの切り替えに……ただこれも2億円と言ってもこれからJR側が現地を見て積算するものである。森谷議員がおっしゃったのはJRの担当者が「恐らくそのくらいかかるよね」と言った発言を元にした意見であってJR側がきちんと精査したものではない。このたび浜田市としても方針が出てJR側に「ここをこのようにやりたい」と言わないと、JRもお金をかけて設計や調査はしないので、飽くまでも概算工事費だから、概算でかつて言ったものの整合性を云々されてもちょっと的外れかと思う。

森谷議員

どっちも概算である。概算の前提でプラス2億円または3億円上乗せできるのだから、概算をベースに上乗せしたら元の概算より増えないとおかしいではないかと言っている。積み上げて積み上げてと言うならここも、2億5000万円になるのも積み上げないと分からない話ということを行っているのではない、ここまで出しているのだから概算で7億円と言っているなら忘れていた金が2億円あるなら9億円にならないとおかしいではないか。例え概算でもコンサルが入っているなら、いくらなんでもいい加減なのはおかしい。

都市建設部長

出し方については、それまでの7億円というのは飽くまでコンサルを介さずに我々職員が過去の経験に基づいて概算を出していたので、我々の精度が甘かったと言われればそうかもしれない。

森谷議員

人の金だと思って、甘いから2億円とかそういうレベルで都市建設は計画を立てるのか。お話にならない。

都市建設部長

きっちり調査をした上で出したものについては責任を持ちたいが、概算はあくまで概算だと思っていただきたい。

西田議長

続いて、岡野議員。

岡野議員

近所に住んでいる方がこの計画についてかなり心配されていた。立ち退きについてだが、もし計画ルート3を採用した場合、レモン浜田店と土井用品店の2軒だけが立ち退きなのか。

都市建設部長

岡野議員のおっしゃるように、この図面上では両サイドにあるレモン浜田店と土井洋装店、ここは空き家となっており日専連浜田専門店会が所有されているがこの2つが該当する。土地についてはその隣の駐車場もかかる予定。

西田議長

他に。足立議員。

足立議員

資料についてお願いしたい。部長は4案の概算金額を言われたが、せめて金額一覧と立ち退き件数等、言ったり言わなかったりがあったので。出来れば比較したかったので資料が欲しかった。仮にルート3だった場合、

| | |
|--------|---|
| 都市建設部長 | <p>今後線路をわたって右に点線の道路があるが、これがメイン道路になるのか、それともエディオンとハゼヤマの間の道路がこれまでどおりメイン道路になるのか、お考えをお尋ねする。</p> <p>先ほど口頭で概算事業費については申し上げた。これは先ほどから何度も申し上げているが、我々の気持ちとすれば、地元説明会の前に活字でお示しすることは飽くまでも概算なので差し控えた。方針が決まれば詳細な設計測量をして、これからきちんとしたものが出てくると思う。道路については、点線で書いてあるのは飽くまで副道という考え方。JRとJAの土地もここにあるので極力……メインはエディオンの方である。</p> |
| 足立議員 | <p>先ほど概算でも約7億3800万円という話だったと思うが、工事費は経済連から用地取得が2億円か3億円だったかで、総事業費的にはやはり12、13億円程度かかるものという認識でよろしいか。</p> |
| 都市建設部長 | <p>土地開発基金で購入した土地が1億8000万円くらい。ただ、その買い戻しについては道路事業に必要な所となるので、その1億8000万円が単純にこの7億3800万円にプラスはされない。またこの辺は元々田んぼだったこともあり、これから道路を作った際に沈下してはいけないので、地質調査、ボーリング調査等をやることにより、工事費は地盤改良費等も出てくる可能性がある。今までの例で言えば事業費は膨らんでいく可能性が高いと思う。</p> |
| 足立議員 | <p>メインの道は飽くまでも今までの道だと先ほど言われたが、であるならばエディオンとハゼヤマの間はご承知のとおり大変狭い道で、折角踏切が良くなって交通量が増えたところで、出口をきっちりしないと道路の渋滞含めて解消出来ないのでは。今後の事業計画をされる上で、出来れば出口の2.61と書いてある所までを考えながら、もちろんお考えだろうとは思いますが、その辺の考え方だけ最後をお願いします。</p> |
| 都市建設部長 | <p>当然考えている。国道9号の交差点から現在2.61と書いてある所が近いので、出来れば交差点は離れた方が良いのは自明の理だが、相手方がいらっしゃるのでここできちんとしたものは示せない。今は踏切周りの説明にとどめたい。全体的な計画についてはこうした考え方は持っている。</p> |
| 西田議長 | <p>他はよろしいか。 (「なし」という声あり)</p> |

(13) 平成27年度学力向上総合対策事業実績報告書

(14) Hamadaマリン郷育プロジェクトについて

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>西田議長 教育部長 西田議長</p> | <p>2件一括で報告をお願いします。教育部長。 (以下、資料をもとに説明) (13)について質問は。 (「なし」という声あり)</p> |
| <p>西田議長 澁谷議員</p> | <p>(14)について質問は。澁谷議員 1000万円近い総事業費の割に参加人数がわずか50人。ここまで費用を使うならもっと人数を増やすべきでは。折角の体験をするために。その考え方を教えて欲しい。</p> |
| 教育部長 | <p>50名を公募しようと思っている。それは安全確認や5名に1名の指導員が付くとか丁寧な対応をしようということで、これくらいが限度かなと</p> |

思ってこのような計画にしている。その他にも裏面にあるようにサブイベントとして色んな所での活動も行う。個別の学校授業だったり、団体からの申し込みを受けたり、広く活動を行っていききたい。
 部長の説明だとサブイベントを含めて1000万円近い予算という考え方なのか。
 そういうことだ。
 他に。森谷議員
 先ほど図書館は何番かと聞いた時に「図書館はない」と言われたが、13番に図書館あるので。
 13番の質問はなかったから14番へ行ったのだが。
 いえいえ。その13番なのだが、イベントがたくさんあるが……。
 今は14番についての質疑を受け付けているので、先に14番から。14番について他にあれば。
 (「なし」という声あり)
 では特別に戻る。13番について、森谷議員。
 図書館の研修や司書さんのこと等色々やっておられるが、実際、県立図書館に国立図書館とインターネットに繋いで、100万部見られるというアーカイブスという名前のもがあるが、2年前から始まっていてそれを図書館に設置してくれということ私が言いに行ったら、駄目だと言われたので無料で出来るのでそういうのをやるだとか、世間受けが良いのをやるのではなく、もっと足元を見てやるのがまだあると思う。例えば前回は議会の議事録を見に図書館へ行くと、議事録はないと言われた。しかしよく見たらある。そうしたら「会議録と言わないからない」と言われた。そういう屁理屈を言うのが司書の役割か。司書というのは違うことを相手が言っても、希望した情報を見付けるのが司書だと思う。だから世間体が良いような研修よりも、利用者に実際にメリットがある研修に力を入れて欲しいと思うがどうか。
 ここには図書館事業は載っておらず、図書館のことを言われたのだが、これは児童生徒の学力向上についての事業を載せたもの。今言われたのは図書館内部、図書館業務についてのご質問だと思うが、おっしゃった2点のことについては、色々この前も電話をいただいたりしているので検討している。また別途お話をさせていただきたい。

(15) 給水車購入事業について

(16) 浜田市下水道審議会の答申について

西田議長 2件一括で報告をお願いします。上下水道部長。
 上下水道部長 (以下、資料をもとに説明)
 西田議長 (15)について質問は。原田議員。
 原田議員 関連して質問させていただきたい。これについては調査会の時も聞いているので、購入理由等は充分理解している。特に災害対応等には必要だと思うが、問題点もある。今年のような凍結による災害の場合、学校現場や福祉施設においては非常に大変だったと聞いている。給水車があれば解決することでもなく、同僚議員からも貯水タンクの方が先ではないかという質問があった。この給水車があつて初めて貯水タンクも活かせて一つの機能ができあがるのだという気がしている。特に金城自治区

の小中学校については、トイレや給食等の利用が出来ず、確か3日間くらい休校している。このようなことが起こる可能性が今後も充分考えられる。タンク設置を充分考えておく必要があるのではないか。担当課としてはどのような計画を持っているか。

上下水道部長

緊急時においては高齢者施設や病院とか学校といった所は、最も早く水を確保しなければならないと思っている。ご指摘いただいたタンクも併せて購入していきたいと思っている。ご意見の内容を受け止め、今後購入に向けて検討させていただく。

原田議員

いつもそういった回答があるが、手元に置かずに早急に検討していただきたい。学校もあるし福祉施設もある。学校等については3日も4日も連続して休校するようなことは、1年間の授業計画が狂うわけなので充分配慮していただいて、出来る所から早急に取り組んでいただくよう検討していただきたい。

上下水道部長
西田議長

ご意見は充分尊重していく。
他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

では(16)について質問があれば。

(「なし」という声あり)

(17) 投票所の統合について

西田議長
総務部長
西田議長

執行部から報告をお願いする。総務部長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について質問は。

(「なし」という声あり)

(18) その他

西田議長
産業経済部長

その他で、産業経済部長。

産業経済部から1点。水産庁のプレスリリースという資料をつけさせていただいた。これは現在浜田漁港の高度衛生管理型の計画を国県と連携して進めているが、一昨日5月23日水産庁から、高度衛生管理基本計画(浜田地区)の策定について報道発表されたので、その資料全体の写しを今、手元に配布させていただいた。水産庁がこの基本計画を定められたので今後、国県と連携して具体的な設計に入っていく。

2枚目には、基本計画の概要のカラー版、その後に詳細な基本計画書がある。地域の特徴、背景、問題点からずっと計画が書いてある。その中の10ページを見ていただくと、基本計画の主な内容として、7号岸壁、4号岸壁について計画数量、予定年度、その中断に事業スケジュールも記載され、この計画が定められたので、計画どおり進捗するよう国並びに県と連携して取り組んでいきたい。

西田議長
牛尾昭議員

この件について質問は。牛尾昭議員。

ようやく決まったことを評価する。ただ、荷捌所を2ヶ所に集約するという点が心配。これだと巻き網は全てトラックスケールオンリーなのか。

産業経済部長

従来の選別機型、それにトラックスケールを加えて計画をさせていただきたい。

牛尾昭議員

そうすると従来の選別とスケールは2本立てということだね。だとする

と、大中型が多い時には相当入る。二本立てで早期に水揚が終わるというシミュレーションはされているのか。

産業経済部長 一般車両の動線や競りの動線、人の動き魚の動き、そういったものも今後基本設計の中で詰めていき、円滑な競りができるようにしたい。

西田議長 他に。

(「なし」という声あり)

西田議長 他に執行部からあれば。なければ議員からあれば。

森谷議員 18番の配布物の広島市場開拓室活動実績についてよろしいか。

西田議長 配布物については目を通していただければ。また何かあれば個別に聞いてもらえば良い。

(「調査会のときは、全協で機会があるからと言われた」という声あり)

西田議長 事務局長。

三浦局長 これは調査会の中で、配布物と全員協議会に出す部分を選別されたはずなので。一応配布物ということになればその協議が終わって、配布だけすれば良い部分だと区別されている。本来、配布物についてまた意見等で発言されると非常に混乱する。今後は委員会の中で整理される時に、他の提出物については良いが、配布物に関する質問については遡って質問というのは避けていただきたい。

西田議長 よろしいか。

森谷議員 それなら質問の機会がないということだ。委員会、調査会の一番下には、委員外議員は予め言っておけば質問出来るということで質問しているのだが、その時には会議の最初で断られる。全協で質問する機会があるのだからそちらに回すということで断られて、全協で資料配布だから質問出来ないということになると、結局調査会や委員会で質問させてもらわないと質問出来ないではないか。

西田議長 森谷議員、その件は分かったので今日は置いておくが、また議運で改めてそういった件も協議したい。

(「答弁がおかしいよ。却下するのは」という声あり)

(「挙手をして発言しんさい」という声あり)

西田議長 了解した。許可する。森谷議員。

森谷議員 広島市場開拓室活動実績について。産業建設調査会で配布された資料には、お持ちでないかもしれないが、実績として成立企業として社会福祉法人可部大文字会、金城町というのが書いてある。私これの経緯を詳しく知っているのだが、これはそもそも市場開拓室の成果ではなく地元の人が2、3年にわたって久佐小学校の利用の仕方について地元民にアンケートを取り、福祉的なものが良いということで地元の人で探されて、大文字会という所と交渉を始めた。それから開拓室が出来たので、一応広島だから顔を出してときなさいよという地元民の勧めで大文字会が顔を出しに行くと、広島市内の福祉関係全てにパンフレットを撒いて公募するから手を挙げなさいというような文書を書かれたそう。地元の方が長年温めてきた案を、応募がいなかったから良いようなものの、応募がいれば今までの努力が水の泡になったような案件である。それをいかにも自分らが成果を挙げたように。地元民から言わせれば邪魔した案件なのに。手伝いはしなくて良いが邪魔をするなどと言う所を、自分の成果

として挙げていることをかなり立腹されていた。この摺り合わせをどのように考えているか。

産業経済部参事 議員ご指摘のように経緯については説明があったとおりと認識している。今回この大文字会について、成立企業を入れさせていただいたことは、元々は金城支所側で久佐小学校を活用した福祉施設の運営事業者を募集した時に、広島市場開拓室においてもその施設に訪問に行き、情報提供をさせていただいた経緯があったので、ここで挙げさせていただいている。実際には公募によって選考して決定されたので、最終的に広島市場開拓室が全部関わったということではないが、少なくとも最初の段階で関わりを持たせていただいたという所で、カウントさせていただいたことをご理解いただきたい。

森谷議員 地元の人にくれぐれも礼を尽くして説明する必要がある。針のように小さい仕事を棒のように大きい成果として取り上げるのはどうかと思う。

産業経済部参事 この件については、そういった思い違いがあった。昨日地元の方が市役所に来られたので、室長から話をさせていただき今回のケースについて説明させていただいた。一応説明させていただいたと理解している。

西田議長 他にはよろしいか。

(「はい」という声あり)

西田議長 ではここで執行部の方はご退席いただいて構わない。

《 執行部退席 》

2. その他

西田議長 三浦局長

その他について。局長。

事務局から3点ほど。お手元にこの前の議会運営委員会で、議長から資料提出ということがあったので、別紙1枚紙で各会派で検討いただきたい事項の素案みたいなものを作った。これは飽くまで案なので、各議員の皆さんから色んな意見があろうと思う。各会派でご検討いただき、6月10日の議運にて整理いただいたものをお持ちいただきたい。

なお、委員外議員の関係について先ほど出たが、その辺りの整理も必要ではないかとあったので、項目として挙げさせていただいた。

あと行事日程でお知らせしたい。6月12日(日)旭公園で9時から防災訓練がある。正式な案内文はまた差し上げるつもりだが、日程についてよろしく願います。

それから議員研修会を既にお知らせしているとおり、7月20日(水)出雲市で13時30分、これまたバスの集合時間等色々決定次第またお知らせする。

西田議長 質問、その他あれば。森谷議員

森谷議員 執行部は全協で同じような内容をしゃべられる。折角調査会や委員会には委員外議員も出席出来るようになっていっているのだから、聞こうと思えば出来る。また出席しながらも全協に出席するというのは無駄な時間。市長たちも本来は来なくて良い。ゼロベースで色んなことを見直すべき。それは本来の姿らしい。全協という所は報告を受ける所ではなく、議員の討論の場所らしい。うちは被ってないのだから出来る。委員外議員の規定は質問出来るというのを本当に活かしておけば問題ない。そして全

西田議長 協は本来の議員のあり方で討論の場で、有効に活用出来ると思う。そういう形ででも考えていただきたい。

西田議長 森谷議員の今の意見は貴重だと思う。そういったことも含めて、今度特別委員会が設置出来るなら、その中でまた議論していただきたい。

西田議長 何か他に議員からあれば。

西田議長 (「なし」という声あり)

西田議長 なければ以上で全員協議会を終了する。

[13 時 02 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西 田 清 久